

## 技術指針の位置づけ

- 埼玉県環境影響評価条例 …… 手続・手順を規定
- 埼玉県環境影響評価条例施行規則 …… 対象事業を規定
- 埼玉県環境影響評価技術指針 …… 対象事業ごとに調査・予測・評価の項目や手法を規定
- 埼玉県環境影響評価技術指針手引 …… 調査・予測・評価の実務上のガイド

平成28年度～29年度  
アセス見直しの対象

## 技術指針等の見直しの目的

### 最新の技術内容に更新

- 当初制定から相当年数が経過  
技術指針は平成11年  
手引は平成22年
- ↓
- 関連法令等の制度改正、  
技術動向  
への対応

### アセス手続の短縮化

- 調査計画書の提出から評価書の縦覧終了まで  
平均2年5か月(直近13件の平均)
- ↓
- 進出企業の事業予見性の低下の恐れ
- アセスのスピードアップと精度の維持
- ↓
- 調査・予測・項目の絞り込み
- 現地調査の頻度等の合理化、前倒し実施

### 「太陽光発電」等の対象事業化

- 埼玉県の快晴日数 日本一
- 28.4電力小売自由化
- 現行規則  
「電気供給業の工場」20ha以上対象  
メガソーラー  
県内最大は川島町貯水池7.5ha  
全国的には5MW・7.5haまでが大半
- ↓
- 規則「太陽光発電所」明記の必要性

## 技術指針等の見直しのスケジュール

【28年7月】  
コンサル業者に調査を委託  
最新の法制度、技術内容  
調査・予測・項目の絞り込み  
現地調査の合理化  
太陽光発電等の県内立地

【29年2月】  
報告書

既存資料(国、都道府県等)  
過去の事例、蓄積されてきた知見  
学識経験者へのヒアリング

【28年秋??】  
環境省が  
アセス技術ガイドを改訂

【29年度】  
技術審議会に諮問  
小委員会を数回開催  
行政推進会議  
答申を経て、改定